

9月議会請願等への表決				
会派	議員名	消費税5%への引き下げ請願	インボイス中止を求める請願	「国葬」の中止を求める意見書
奥州市議会	門脇芳裕	×	×	○
	高橋善行	×	×	○
	東 隆司	×	×	○
	千葉和彦	×	○	○
	小野寺満	○	×	○
	高橋 浩	○	×	○
	中西秀俊	×	×	○
	菅原由和	議長		
	藤田慶則	×	×	○
	菅野 至	○	○	○
新奥会	佐々木友美子	○	○	○
	千葉康弘	○	○	○
	廣野富男	○	×	○
	及川 佐	○	○	○
奥州みらい	小野寺重	○	○	○
	佐藤美雪	○	○	○
	瀬川貞清	○	○	○
	千葉 敦	○	○	○
日本共産党	菅原 明	○	○	○
	今野裕文	○	○	○
	飯坂一也	×	×	×
	阿部加代子	×	×	×

○：賛成 ×：反対
 ※議長・副議長は出身会派です。

市政報告

2022年11月号
 奥州市議会日本共産党議員団
 《連絡先》
 奥州市役所日本共産党議員団控室
 水沢大手町1-1 ☎24-2111
 日本共産党奥州市委員会
 水沢字久田62 ☎24-2021 fax24-2049

憲法違反の「国葬」は止めよ！

9月5日、日本共産党奥州市議団は、千田美津子県議とともに、倉成淳市長に対して、安倍元首相の「国葬」について次の2つを申し入れました。

- ①憲法の精神に反し、法的根拠のない、国民多数が反対している安倍元首相の「国葬」の中止を求めること。
- ②国旗の掲揚や弔意の表明も、要請も行わないこと。



安倍晋三元首相の「国葬」の中止を求める意見書 採択！

「消費税インボイス制度の中止を求める請願」は、来年10月からインボイス制度が実施されると、免税業者が取引から排除される恐れがあり、免税点制度を事実廃止するもので、零細業者等の経営がなりたたないとして、国に対してインボイス制度の中止を求める意見書を提出しています。

「景気回復のため、消費税の5%への引き下げを求める請願」は、消費税1%増税と複数税率で景気悪化と事務負担が増加し、新型コロナウイルス感染症

中小零細業者の声、国に届かず！

9月22日、奥州市議会では、9月議会定例会最終日に、発議案「安倍晋三元首相の『国葬』の中止を求める意見書」を賛成多数で採択し、衆参両院議長、内閣総

理大臣等に送付されました。この発議案は、奥州みらい会派からも賛同者を得て、今野裕文議員が提案者となり提出されたものです。

臨時発熱外来診療所の再開を要望

コロナ感染急拡大で
市長へ緊急申し入れ



8月9日、倉成淳市長にコロナ対策の緊急申し入れ（左から倉成市長、千田県議、右に今野市議、千葉市議、菅原市議、瀬川市議、佐藤市議）

8月9日、日本共産党奥州市議団と千田美津子県議は、倉成淳市長に対して、新型コロナウイルス感染急拡大に伴う緊急申し入れを行いました。

今回の申し入れは、①市と市民が一体となった感染抑制の取り組み強化、②臨時発熱外来診療所の再開、③ワクチン接種の早期・確実な促進、④PCR等検査体制の強化、⑤後遺症の状況を把握し医療と相談の体制確立の5項目です。

表1 各会計財政調整基金残高 単位：千円

	令和2年度末 現在高	令和3年度末 現在高
一般会計	7, 226, 245	8, 130, 809
国民健康保険特別会計	1, 649, 328	1, 534, 663
介護保険特別会計	1, 127, 587	1, 015, 524

日本共産党市議団は、令和3年度の国民健康保険税引き上げ、同介護保険料の引き上げは、市民がコロナ禍のもと苦しんでいることから不足分は財政調整基金を充てることを求め、引き上げるべきでないとして一般会計予算も含めて予算案に反対していました。

千葉敦議員は、決算の状況から令和3年度の国民健康保険税・介護保険料の引き上げは必要なかったことにならないかと質しました。

担当者は、単年度で見した場合、赤字予想が均衡するところまで改善したことを認めました。

国民健康保険税・介護保険税の引き上げは必要なかったのではないかと質

7月中旬から奥州市の新規感染者が100人前後確認される日があり、発熱等体調不良で診察を受けようにも、病院やかかりつけ医等に断られたり長時間待たされる状況が続いていました。

このため日本共産党議員団は感染急拡大で検査・治療が滞ることのないようにすること、感染疑いや体調不良の不安を感じた時、早期に検査を受けて安心できるようにすること、医師会の協力を得ながら、検査をスムーズに受けられる体制を整えてほしいと訴えました。

決算審査特別委員会から

正規職員と
非正規職員の実態は？

精神疾患による
病気休暇は倍増！？

日本共産党市議団は、かねてから行き過ぎた職員削減と、行政職場でのワーキングプアの拡大の見直しを求めてきました。

佐藤美雪議員は、正規職員と会計年度任用職員（非正規職員）の実態・比率、会計年度任用職員の平均年収、精神疾患による正規職員の病気休暇や休職の実態について質しました。

担当者は、正規職員884人に対し、会計年度任用職員697人で、職員の3・8%を占め、会計年度任用職員の平均年収は173万円で、以前と変わらないと答えました。

また、精神疾患による病気休暇は18名、休職は8名で、精神疾患による休暇が倍増していることを明らかにしました。



事務局次長 佐藤美雪 事務局長 瀬川貞清 幹事長 千葉敦 議員副団長 菅原明 議員団長 今野裕文

2022年9月議会の報告と日本共産党奥州市議団の活動を紹介します。